

(2017年度)

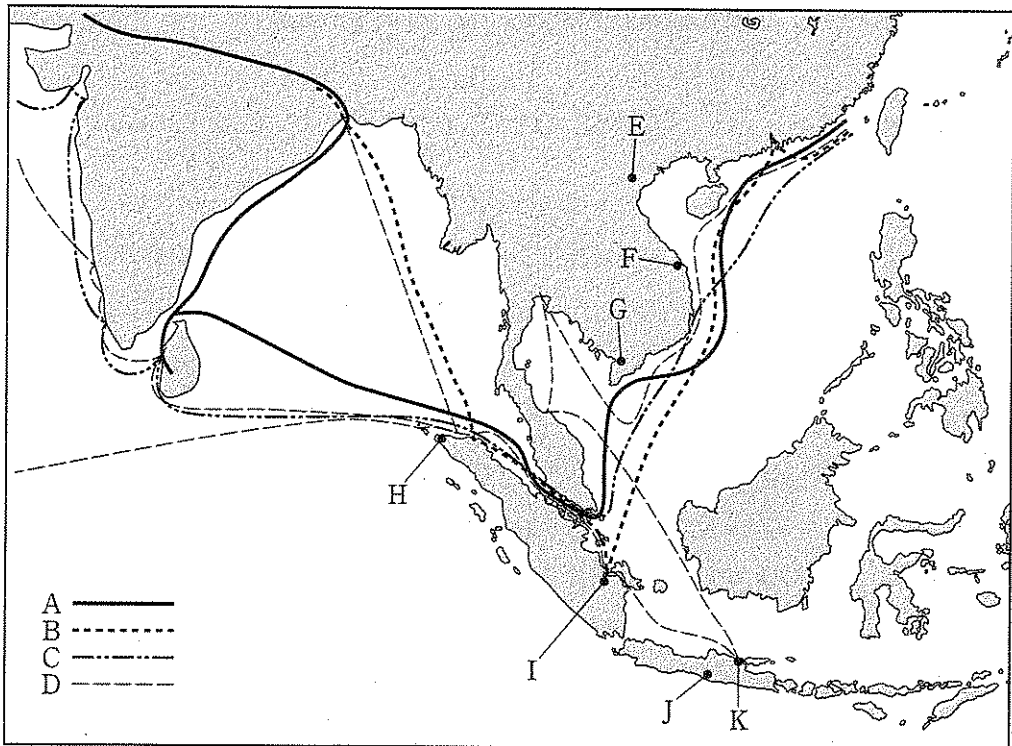
5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は20ページ, 4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 次の図は東南アジアを中心としたアジアの地図である。A～Dの線は歴史上の人物が移動した経路を示す。E～Kの点は歴史上重要な都市や場所を示す。A～Kに関する以下の設問(1～2)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。



設問 1

東南アジア物産の需要が高まっていた紀元前2世紀末頃、(1)が南海交易の拠点として置いた郡のうち最南に位置したのが(2)だった。一方、季節風(モンスーン)を利用して外海を横断する航海術が発見され、海上交易が活発化し、紀元1世紀頃には(3)の船が東南アジアへ頻繁に来航するようになる。やがてこれら東・西の交易ルートが一つにつながる。いわゆる海の道である。この海の道の重要な外港の一つでメコン川下流域に位置する(4)からは、当時の東西交易ネットワークの証拠となる(5)が見つかった。

問1 空欄(1)に当てはまるものはどれか。

- a 秦の始皇帝
- b 前漢の劉邦
- c 前漢の武帝
- d 後漢の光武帝

問2 空欄(2)に当てはまるものはどれか。

- a 南海郡
- b 日南郡
- c 交趾郡
- d 象郡

問3 空欄(2)の中心地は、地図上E～Hのどれか。

- a E
- b F
- c G
- d H

問4 空欄(3)に当てはまるものはどれか。

- a エフタル
- b ギリシア・マケドニア
- c バクトリア
- d インド

問5 空欄(4)に当てはまるものはどれか。

- a アチェ
- b オケオ
- c クダ
- d パレンバン

問6 空欄(4)は地図上G～Jのどれか。

- a G
- b H
- c I
- d J

問7 空欄(5)に当てはまるものはどれか。

- a アフリカの象牙・中国の絹織物
- b インドの綿織物・日本の銀
- c タイの銅鼓・中国の陶磁器
- d ローマの金貨・中国の鏡

問8 下線部(ア)に関連して、中国では宋代以降にマラッカ海峡域の小交易国家群を何と総称したか。

- a 真臘
- b 三仏齊
- c 扶南
- d 大越国

問9 下線部(ア)を航路とした歴史上の人物と、その経路(A～D)の組み合わせとして正しいものはどれか。

- a A — マルコ=ポーロ, B — イブン=バットゥータ,
C — 大秦王安敦の使者, D — 玄奘
- b A — 玄奘, B — 法顕, C — マルコ=ポーロ,
D — イブン=バットゥータ
- c A — 大秦王安敦の使者, B — 法顕, C — イブン=バットゥータ,
D — 義浄
- d A — 法顕, B — 義浄, C — マルコ=ポーロ, D — 鄭和

設問2

海上交易の活性化に伴い、多様な東西の文化や宗教が東南アジアにもたらされた。たとえばジャワ及びその周辺を見ると、5世紀には(6)の宗教文化の受容がみとめられる。8世紀後半には(7)が(8)のボロブドゥールを造営した。同じ頃、中部ジャワでは(9)の(10)も勢力をもった。やがて(11)に成立したマラッカ王国では、国王が(12)へ改宗し、西方世界との関係を強固なものにしていった。

問1 空欄(6)に当てはまるものはどれか。

- a 中国 b インド c イスラーム d ヨーロッパ

問2 空欄(7)に当てはまるものはどれか。

- a シャイレンドラ朝 b クディリ朝 c スコータイ朝
- d シュリーヴィジャヤ王国

問3 空欄(8)に当てはまるものはどれか。

- a 大乘仏教 b 上座部仏教 c ヒンドゥー教
- d イスラーム教

問4 空欄(9)に当てはまるものはどれか。

- a 大乘仏教 b 上座部仏教 c ヒンドゥー教
- d イスラーム教

問5 空欄(10)に当てはまるものはどれか。

- a 古マタラム朝(マタラム朝) b チャールキヤ朝 c ベグー王国
- d アユタヤ王国

問6 空欄(10)が造営し、1991年にユネスコ世界遺産に登録された寺院は、地図上H~Kのどれか。

- a H b I c J d K

問7 空欄(11)に当てはまるものはどれか。

- a 13世紀初頭 b 13世紀末 c 14世紀初頭 d 14世紀末

問8 空欄(12)に当てはまるものはどれか。

- a 大乘仏教 b 上座部仏教 c ヒンドゥー教
- d イスラーム教

2 以下の文章を読んで、問(1~2)に答えなさい。

ヨーロッパとはなにか、と聞かれたら、みなさんはどう答えるだろうか。

いささか古めかしい19世紀的な学説に依拠して、人種や語族^(ア)概念をもとに、白色人種(コーカソイド)の世界と返答するだろうか。日本の近代化のモデルとされた帝国主義的列強^(イ)を挙げるだろうか。それともユーラシア大陸の西端といった地理学的見地を重視するだろうか。

いずれにせよ、ヨーロッパ成立の出発点を考えるとき落とせない人物がいる。その名は(1)。

彼が、フランク王国(2)朝第2代目の王として、父(3)を継いだ時、王国はすでに現在の主要な西欧世界の半ば近くを占める大国だった。

(ウ) 彼の祖父(4)の時代、東方ではイスラーム最初の世襲王朝(5)朝が、(6)を首都として、東は西北インドから、西は地中海南岸のエジプト、北アフリカを経由して、イベリア半島にいたる広大な版図を支配し、東西で結ぶ一大商業圏を形成していたので、フランク王国にも多大の恩恵を及ぼしていた。

そこで入手し蓄積した富と軍事力を活用して、(1)は周辺領域に侵攻を開始した。彼は46年間の治世のあいだに実に53回遠征を行ったと伝えられているほどだ。773年、教皇領を脅かされていたローマ教皇ハドリアヌス1世の救援要請を受けて、彼は(7)王国を攻撃、首都パヴィアを占領し、1年足らずで滅亡に追い込み、彼が王位を兼ねた。

他方、ゲルマン人の一派(8)人の制圧にはかなり手を焼き、完全な服属には32年を要したという。また、パンノニア平原にいたアジア系遊牧民(9)人を数年かけて討伐して東に大きく領土を広げることに成功した。

こうして西ヨーロッパの大半を支配下に収めた(1)に目をつけた教皇がいる。(10)である。この彼は、(11)年に5度目のアルプス越えを敢行し降誕祭を祝うべくローマのサン=ピエトロ聖堂を訪れた(1)を、予告なしに突然(12)として戴冠した。これが(1)への事前の根回しなしで実行されたかどうかは別にして、以降(1)はその称号の定着化をめざして活発な外交政策を実施する。というのは、地中海世界での唯一正統な帝権を主張する女帝エイレネーにとって、それは非合法的な権力篡奪行為に他ならなかったからである。

それはちまたでよくいわれる、ローマ、ゲルマン、キリスト教の三要素からなる一つの文明圏の出発点となった。かくして(1)は西欧世界の第一歩を印した人物として、歴史に残る存在とされてきたわけである。

問1 空欄(1~12)にもっとも適切な語句を1つ選択肢(a~d)から選びなさい。

- (1) a カール=マルテル b クローヴィス c シャルルマーニュ
d ピピン3世
- (2) a アッバース b カペー c カロリング
d メロヴィング
- (3) a カール=マルテル b クローヴィス c シャルルマーニュ
d ピピン3世
- (4) a カール=マルテル b クローヴィス c シャルルマーニュ
d ピピン3世
- (5) a アッバース b ウマイヤ c 後ウマイヤ
d ファーティマ
- (6) a カイロ b ダマスクス c トレド d バグダード
- (7) a ヴァンダル b 東ゴート c ブルグンド
d ランゴバルド
- (8) a アヴァール b ザクセン c スラヴ d バイエルン
- (9) a アヴァール b ザクセン c スラヴ d バイエルン
- (10) a ヨハネス12世 b レオ3世 c レオ10世
d レオン3世
- (11) a 791 b 800 c 814 d 962
- (12) a 神聖ローマ皇帝 b ビザンツ皇帝 c フランク王
d ローマ皇帝

問2 下線(ア～ケ)にもっとも適切なものを選択肢(a～d)から選びなさい。

(ア) この「語族」に属さない言語を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a ケルト語 b スラヴ語 c アッシリア語 d ヘレニック語

(イ) その意味でこの時期の列強に含むことのできない国名を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a イギリス b スペイン c ドイツ d フランス

(ウ) (3)を継いで(1)が王位に就いた時点で、版図に入っていなかった地域を、現代の国名で表記すると、どれか。選択肢(a～d)からすべて選びなさい。

a イギリス b スペイン c ベルギー d フランス

(エ) この地域で(4)以前に一時的にせよ勢力を有していた国名を、選択肢(a～d)からすべて選びなさい。

a ヴァンダル王国 b ローマ帝国 c ブルグンド王国
d 西ゴート王国

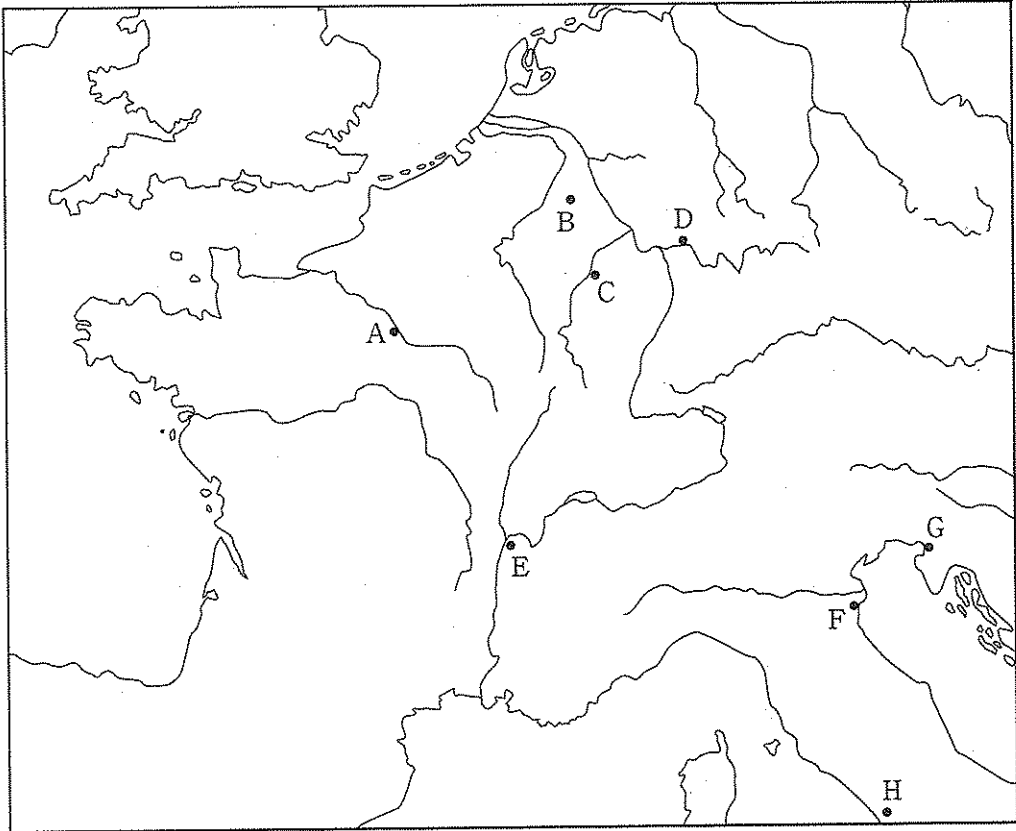
(オ) 756年に獲得した土地を教皇領として寄進したのは誰か。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a カール＝マルテル b クローヴィス c シャルルマーニュ
d ピピン3世

(カ) 上記(オ)にあげた領土に含まれる都市を答えなさい。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a アーヘン b トリエステ c ラヴェンナ d ローマ

(キ) 上記(カ)の a～d はそれぞれどこに位置するか。地図中の記号(A～H)で順番に示した場合、正しいのはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。



a A—D—E—G b B—G—F—H c C—D—H—F

d D—F—G—H

(ク) この聖堂の建設を開始したのは、誰か。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a コンスタンティヌス帝 b デイオクレティアヌス帝

c テオドシウス帝 d ユスティニアヌス大帝

(ケ) この聖堂は後世建て替えられた。その建て替えに無関係な人名・事項を、
選択肢(a～h)からすべて選びなさい。

- a アリウス論争 b 贖宥状 c テンプル騎士団
d ミケランジェロ e ブラマンテ f マルティン＝ルター
g ユリアヌス帝 h レオ10世

3 次の文章(I～II)を読んで、問(1～18)に答えなさい。解答は、選択肢(a～
d)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(I) 北アメリカと南アメリカを結ぶ地峡に位置するパナマは、大西洋と太平洋を
つなぐ交通の要衝として大国の干渉の対象となった歴史を持つ。16世紀初頭、
スペイン王フェルナンドによってこの地に派遣された(1)は地峡を横断し
て太平洋側に到達した。1519年にはパナマ市が建設され、ピサロの南米進出
の拠点ともなった。パナマははじめペルー副王領のちにヌエバ＝グラナダ副王領
としてスペイン植民地に組み入れられたが、1819年に(2)が主導して独立
した大コロンビア共和国の一地方となった。

19世紀終盤、列強が海洋進出を強めるなか、パナマは運河建設の候補地とし
て注目される。アメリカ合衆国は当初ニカラグアでの運河建設を目指したた
め、パナマ運河の建設に着手したのはスエズ運河を建設したフランスのレセッ
プスであった。しかしレセップスによる運河建設が挫折した後、アメリカ合衆
国はコロンビアからの分離独立運動を支援して(3)年にパナマを独立さ
せ、運河条約を結んで建設権と運河地帯の永久所有権を獲得した。

しかし20世紀後半にパナマ国民のナショナリズムが高揚し、運河の返還要求
が高まると、1977年に新運河条約が結ばれて返還が決定し、1999年にパナマ運
河は返還された。冷戦後、自由貿易が世界的に拡大するなか、パナマ運河の役
割はいっそう拡大し、いままスエズ運河と輸送量を競っている。2016年に運河
はさらに拡張された。

問1 下線部(ア)の人物に関する説明として誤っているものはどれか。

- a 地中海に海洋帝国を築いたアラゴンの王である。
- b シチリアとナポリの王も兼ねた。
- c カスティリヤの王女イサベルとの結婚の後、スペインの共同統治者となった。
- d コルドバを攻略し、国土回復運動(レコンキスタ)を完了させた。

問2 空欄(1)に入る人名はどれか。

- a マゼラン(マガリャンイス) b バルボア c カブラル
- d カボット

問3 下線部(イ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a ピサロが到達したアンデス地帯には、高度な石造建築とキープ(縄文字)を特徴とするインカ帝国が繁栄していた。
- b ピサロは1532年にインカ帝国に進軍した後、皇帝アタウルパを捕らえて殺害した。
- c ピサロが発見したポトシ銀山から、スペイン本国に大量の銀が流れ込んだ。
- d ピサロが建設したリマは、ペルー副王領の首都として南米大陸支配の拠点となった。

問4 空欄(2)に入る人名はどれか。

- a シモン=ボリバル b ミランダ c サン=マルティン
- d ホセ=マルティ

問5 下線部(ウ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 国際スエズ海洋運河会社が1869年に完成させた。地中海と紅海を結び、ヨーロッパとアジアの距離を短縮した。
- b イギリスは1882年にウラービー(オラービー)の反乱を鎮圧して、スエズ運河地帯の駐屯権を獲得した。
- c 1936年のエジプト=イギリス同盟条約は、運河地帯のイギリスの兵力駐屯権を20年期限で認めたが、エジプトの主権も認めた。
- d 1956年にナセルが運河の国有化を宣言すると、イギリス・フランス・イタリアがエジプトに侵攻した。

問6 空欄(3)に入る年はどれか。

- a 1903 b 1904 c 1913 d 1914

問7 下線部(エ)を進めたアメリカ大統領は誰か。

- a クリーヴランド b マッキンリー
- c セオドア=ローズヴェルト d タフト

問8 下線部(オ)に関して、これを実現したアメリカ大統領は誰か。

- a ニクソン b フォード c カーター d レーガン

問9 下線部(カ)に関して、世界貿易機関(WTO)を成立に導いた多国間交渉の名称はどれか。

- a シアトル=ラウンド b ドーハ=ラウンド
- c 東京ラウンド d ウルグアイ=ラウンド

(II) 欧米諸国における重工業化の進展にともない、19世紀後半にはラテンアメリカから欧米への原料や食料の輸出が増加した。蒸気船・鉄道の普及や冷凍技術の発達が長距離輸送を容易にしたことが背景にあった。19世紀末には世界第一の工業国となったアメリカ合衆国が、中米やカリブ海諸国に対する帝国主義政策を進め、アメリカ＝スペイン戦争でキューバを保護国化したのを皮切りに、政治介入と経済的関与を強めていった。

20世紀初頭の歴代政権の外交政策はその特徴に応じて(4)大統領の棍棒外交、(5)大統領のドル外交、(6)大統領の宣教師外交などと称される。いずれの政権も中米・カリブ海諸国への軍事介入を行っており、ニカラグア、ハイチ、ドミニカを軍事占領したほか、米国資本の支配と特権層への富の集中への反発から革命が勃発したメキシコに海兵隊を派遣している。

アメリカ合衆国はまた、1889年以降定期的にパン＝アメリカ会議を開いてラテンアメリカ地域への影響力の拡大をはかった。この地域を勢力圏とする政策は以後も形を変えながら続けられる。大恐慌後の1930年代には経済圏の確保のためにフランクリン＝ローズヴェルト大統領が善隣外交を進めた。第二次世界大戦後は1947年に米州の共同防衛をうたった(7)が結ばれ、1948年にはパン＝アメリカ会議の場で米州機構(OAS)の結成が合意された。

問10 下線部(キ)に関して、当時の代表的な輸出品でないものはどれか。

- a ブラジルのトウモロコシ b アルゼンチンの牛肉
- c キューバの砂糖 d チリの硝石

問11 下線部(ク)に関して、外輪式蒸気船を建造しハドソン川を航行させた人物は誰か。

- a ダービー b フルトン c ニューコメン
- d スティーヴンソン

問12 下線部(ケ)に関する記述として誤っているものはどれか。

- a 南北戦争後、石炭・石油・鉄鋼などを基本とする重工業がめざましい発展を遂げた。
- b 重化学工業は巨額の資本を必要とするため、企業の集中と独占をもたらした。
- c 都市部では労働運動が高まり、1886年にアメリカ労働総同盟(AFL)が結成された。
- d ラテンアメリカからの移民が大量に流入し、低賃金の不熟練労働者として重工業化を支えた。

問13 下線部(コ)に関して、アメリカ合衆国の内政干渉権や軍事基地の提供を定めたプラット条項をキューバが受諾した年と、同条項が廃止された年の組み合わせは以下のうちどれか。

- a 1898—1934 b 1901—1934 c 1898—1959 d 1901—1959

問14 空欄(4)から(6)の順に入る大統領名の正しい組み合わせはどれか。

- a セオドア＝ローズヴェルト — タフト — ウィルソン
- b タフト — セオドア＝ローズヴェルト — ハーディング
- c セオドア＝ローズヴェルト — タフト — ハーディング
- d タフト — セオドア＝ローズヴェルト — ウィルソン

問15 下線部(サ)に関して、土地を奪われた農民を率いた革命指導者は誰か。

- a マデロ b サパタ c イダルゴ d ファレス

問16 下線部(シ)に関して、大恐慌を受けて制定された法でないものはどれか。

- a 農業調整法(AAA) b ワグナー法
- c クレイトン法 d 全国産業復興法(NIRA)

問17 空欄(7)に入る適切な言葉はどれか。

- a リオ協定
- b ワシントン合意
- c 進歩のための同盟
- d 大西洋憲章

問18 下線部(ス)の説明として誤っているものはどれか。

- a 冷戦の激化を背景に、ラテンアメリカ諸国の反共協力のための組織となった。
- b ラテンアメリカ諸国の社会主義勢力をおさえる役割を果たしたが、反面でアメリカ合衆国の干渉に反発する動きも起こった。
- c 土地改革を進めたグアテマラの社会主義政権が、1954年に脱退した。
- d 1961年に社会主義を宣言したキューバは資格停止となった。

4 二つの世界大戦の間には、第一次世界大戦を反省して、戦争防止を目的とする諸条約が結ばれた。しかし、その努力もむなしく、第二次世界大戦が勃発した。結局大戦を防止できなかった戦間期の平和政策の反省を踏まえて、第二次世界大戦後半に連合国首脳は、戦後の平和な秩序構築について数度話し合い、そこで出された構想の多くは戦後に具体化された。

史料(A～C)は両大戦間期の諸条約、史料Dは第二次世界大戦中の連合国首脳会談の宣言からの抜粋である。史料を読んで、後の問(1～20)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)からもっともふさわしいものを1つ選びなさい。

(史料の出典は、歴史学研究会編『世界史史料』第10巻、岩波書店、2006年、ただし文言は一部改変あり)

< A >

第1条 締約国は本条約の規定に従い、各自の海軍軍備を制限すべきことを約定する。

第4条 各締約国の主力艦合計換算トン数は、基準排水量において、合衆国525,000トン、イギリス帝国525,000トン、フランス175,000トン、イタリア

175,000トン、(ア)315,000トンを超えることができない。

問1 空欄(ア)に入る国名は何か。

- a オランダ b スペイン c ソ連 d 中国 e 日本

問2 Aの条約を結んだ会議が行われた都市はどこか。

- a ジュネーヴ b ハーグ c パリ d ロンドン
e ワシントン

問3 Aの条約を結んだ会議を提唱したのは誰か。

- a ウィルソン b ハーディング c ブリアン d ポワンカレ
e ロイド=ジョージ

問4 Aの条約を結んだ会議では、中国に関する九カ国条約も結ばれた。その九カ国条約に調印していない国はどれか。

- a イタリア b スペイン c 中国 d フランス
e ポルトガル

第1条 締約国は、個別および集团的に、以後の条約において規定されているように、ドイツ・ベルギー間と、ドイツ・フランス間の国境に由来する領土の現状維持、ならびに、1919年6月28日に(イ)で調印された講和条約により確定され、遂行された当該国境の不可侵、および軍備禁止地域に関する前述の条約の第42条および第43条の規定の順守を保証する。^(ウ)

第10条 (前略)本条約はすべての批准書が寄託され、ドイツが国際連盟の加盟国となることをもって発効する。^(エ)(後略)

問5 空欄(イ)に入る地名はどれか。

- a ヴェルサイユ b サン＝ジェルマン c セーヴル
- d トリアノン e ヌイイ

問6 下線部(ウ)はどこにあたるか。

- a アルザス b シュレジエン c ズデーテン d ダンツイヒ
- e ラインラント

問7 下線部(ウ)の軍備禁止を破った後に、ドイツが行ったことはどれか。

- a 国際連盟の脱退 b ザールの編入 c 三国防共協定の締結
- d 全権委任法の制定 e 大統領緊急令の発動

問8 下線部(エ)のように、ドイツが国際連盟の加盟国となったのはいつか。

- a 1920年 b 1923年 c 1926年 d 1929年 e 1933年

問9 史料Bの条約は何か。

- a ジュネーヴ条約 b ラテラノ条約 c ラバロ条約
- d ロカルノ条約 e ローザンヌ条約

問10 史料Bの条約締結や国際連盟加盟など、ドイツの外相として協調外交を主導した人物は誰か。

- a エーベルト b カール＝リープクネヒト
- c シュトレーゼマン d ヒンデンブルク e ホネカー

<C>

第1条 締約国は、国際紛争解決のために戦争に訴えることを非難し、かつ、その相互の関係において国家政策の手段として戦争を放棄することを、その各々の人民の名において厳粛に宣言する。

第2条 締約国は、相互に発生する紛争または衝突の処理または解決を、その

性質または原因の如何いかんを問わず、平和的手段以外で求めないことを約束する。

問11 史料Cの条約の提唱者は誰か。

- a クーリッジ b ケロッグ c デュナン d ブルム
- e マクドナルド

問12 史料Cの条約が結ばれたところはどこか。

- a アムステルダム b ジュネーブ c パリ d ロンドン
- e ワシントン

<D>

第1条 両国^(ア)は、領土であれその他であれ、いかなる拡大も求めない。

第2条 両国は、関係する人民の自由に表明された願望に一致しない、いかなる領土の変更も欲しない。

第3条 両国はすべての人民が(中略)政体(カ)を選択する権利を尊重する。(後略)

第5条 両国は、労働条件の改善^(キ)、経済的進歩および社会保障^(ク)をすべての者に確保するために、経済分野におけるすべての国家間の完全な協力^(ケ)を実現することを希望する。

第8条 両国は、世界のすべての国民が、現実的および精神的いずれの理由から、武力行使の放棄に到達しなければならないと信じる。陸・海・空の軍備が自国の国境外に侵略の脅威を与える、もしくは与えそうな国々によって行使される限り、いかなる将来の平和も維持されえないのであるから、両国は、一層広範かつ恒久的な全般的安全保障システム^(コ)が確立されるまで、こうした国々の武装解除は不可欠であると信じる。(後略)

問13 史料Dの宣言を出した会談が行われたのはどこか。

- a カイロ b 大西洋上 c テヘラン d ポツダム
- e ヤルタ

問14 史料Dの会談に参加した連合国の首脳の組み合わせとして正しいものはどれか。

- a フランクリン=ローズヴェルトとチャーチル
- b フランクリン=ローズヴェルトとスターリン
- c チャーチルとスターリン
- d トルーマンとチャーチル
- e トルーマンとスターリン

問15 第1条、第2条の原則に逆らった領土拡大をしたと両国が非難した国の一つドイツが、第二次世界大戦で侵攻を開始した順に並べると、3番目にくる国はどれか。

- a ソ連 b デンマーク c フランス d ベルギー
- e ポーランド

問16 下線部(カ)の点は、戦後になると、どのような政体が人民の意思を反映しているかをめぐって、冷戦激化の要因にもなった。ある国の共産化阻止を目的とした軍事支出を正当化するために行った1947年のアメリカの宣言も、この延長上のものである。この宣言のきっかけとなった「ある国」とはどこか。

- a トルコ b チェコスロヴァキア c ハンガリー
- d ポーランド e ユーゴスラヴィア

問17 下線部(キ)に関して、国際連盟時代から設けられていた国際機関はどれか。

- a IBRD b ILO c IMF d INF e WHO

問18 下線部(ク)に関して、第二次世界大戦後のイギリスで、社会保障制度の充実を推進した首相としてもっとも初期の人は誰か。

- a アデナウアー b アトリー c イーデン d シューマン
- e チャーチル

問19 下線部(ケ)に関して、戦後は冷戦のために、経済協力組織も二大陣営に分かれた。戦後の共産主義圏の経済協力機構はどれか。

- a コミンテルン
- b コミンフォルム
- c コメコン
- d ヨーロッパ経済協力機構
- e ワルシャワ条約機構

問20 下線部(コ)の趣旨で、第二次世界大戦後に創設された国際連合の説明として、正しいものを選べ。

- a 国際連合憲章の原案は、1944年のサンフランシスコ会議で作られた。
- b スイスは永世中立国であるため国際連合に現在に至るまで参加していない。
- c 安全保障理事会の常任理事国である中国の代表権は、1980年に中華民国から中華人民共和国に移った。
- d 国連総会で世界人権宣言が採択された。
- e 国連軍は朝鮮戦争とベトナム戦争に出動した。

